学校番号	1206

令和８年度　理科

教科	理科	科目	自己表現 （理科編 A）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自校作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己表現（理科編 A）は、「基礎からの理科」や「科学と人間生活」で学ぶ内容の整理や復習を行います。知識の整理や復習をしながら、ときには提起された問題などについて自らの見方や考えを論じたり観察や実験を行いメンバーで検証をしたりすることもあります。成績は考査や授業プリントなどの提出物も重視しますが、自らの意見を発表することを積極的に評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
演習などを通して、実際に得た知識や技能を活用する方法を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
自らの考えや解法などを、口頭、論述などいろいろな方法で表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
知識及び技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身に付けようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 自然の事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得している。 観察、実験の結果の記録や整理、資料の活用の仕方を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行うことができる。 観察、実験などの結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現ができている。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言ができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	粒子	粒子の存在 1 物質の分解 2 原子、分子 粒子の結合･保存性 1 化学変化 2 質量の保存 3 水溶液 4 状態変化	a:物質が原子や分子でできていることを理解できている。質量パーセント濃度を求めることができる。 b: 燃焼の実験・観察を通して、質量保存の法則を見出すことができる。 c:元素記号を積極的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察
後期	生命の科学	生物と光 1 植物の育成と光 2 光シグナルと生物 3 ヒトの視覚と光	a: 生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 b: 光合成と光エネルギーについて葉緑体を関連付け、光の強さや波長と光合成との関係を見出すことができる。 c: 生物の行動と光のかかわりについて、具体的例を挙げて説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察
	物質の科学	衣料と食品 1 衣料 2 食品	a: おもな繊維の構造，化学的な性質，用途について，具体例を通して知識を習得することができる。 b:食品中の栄養素と生体内での役割について学習し，栄養素が取りこまれる過程について理解できる。 c:学習したことを身の回りの物との関連を見出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度